



安心とつるおいの下町「川の手」をめざして

防災まちづくり版

発行「寺島問を防災のまちにする会」

1992.4.1.

地藏坂通り

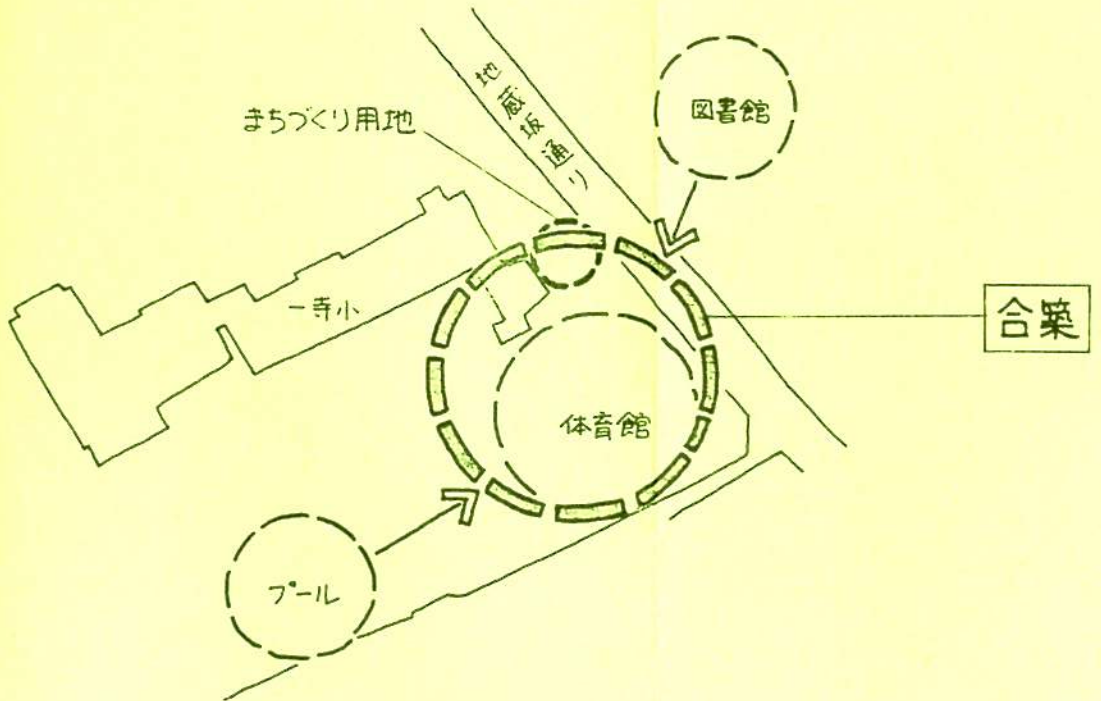
まちづくり用地を活用して **図書館・プール・体育館の合築を!**

区長・教育長に要望書を提出

寺島図書館前のまちづくり用地の利用方法について検討を進めてきた担当理事会は、2月28日の検討会議で「寺島図書館と一寺小のプール・体育館を合築し、地域に開放された施設とすること」を、区に要望することになりました。これは、一寺小防災活動拠点の強化、地域の活性化を目指したもので、古くからの文教施設の集積をうまく生かそうとしたアイディアです。担当理事会で要望書を作成の後、3月24日に区長と教育長宛に提出する予定です。

暫定利用も検討

検討会議で商店会から「空き地にゴミが捨てられたり、犬の糞が落ちていたりして困っている。また、空き地は商店街にさびれた印象を与えてしまう。当面のあいだ暫定利用することは考えられないだろうか」という意見がでました。担当理事会ではこれを受けて、地元商店会の管理で暫定利用ができるよう、合築の要望と併せて、商店会と共に区長に要望することになりました。具体的な利用方法については検討中ですが、リサイクル活動やまちづくり情報のパネル展示などに使いたいという案が出ています。またこれと併せて、まちづくり用地の近くにある塚本紙器跡地についても、通りの環境や美化を考えて暫定的に整備するよう要望します。



のまちにする会 則 平成4年2月18日改正

「一言会」と称する。しかももうおいのあるまちにしていく方向性を示すことを目的とする。活動をおこなう。中町会、東向一南町会、東向島宮元町会、堤通一丁目西町会)と、「一寺言問の防災まちづくりを」す。理事会は、各構成団体から選出された理事に会長1名と副会長若干名をおく。役員は、理事の中心事務局をおく。事務局には、事務局長1名と事務

活動体制を検討

一言会はいままで「東京都防災生活圏モデル事業」によって、東京都と墨田区の支援を受けて、活動を続けてきました。しかし、今年度をもってこの事業が終了し、一言会への支援は墨田区に一本化されます。そこで、一言会ではこれを機に、より充実した活動を展開するために、平成4年度以降の新たな活動体制の検討を始めました。そしてその第一歩として、2月18日の理事会で一言会の会則を改正しました。

私がまちづくりスタッフです

その25

向島五丁目

植竹モトさん

(一言会理事)



植竹さんとまちづくりの出会いは、向島有季園にある路地第3号基に雨水を提供したことに始まる。畑の利用者にもなっており、有季園について知らないことはない。有季園の管理もお願いしている。

大正12年、栃木県生まれ。旧寺島六丁目に住んでいた伯父さんの所から、女学校に通う。一時、栃木に帰ったが、16才再び上京。旧荏原區にあった行儀見習いの私塾に弟子入りする。お茶、お花作法、裁縫と仕込まれる。

昭和16年、大東亜戦争が始まり、「女も外に出て働く時代」と師匠に言われ、お針を習っていた箱入り娘は、品川の園池製作所に就職。職業婦人になる。今でいうキャリア・ウーマン。飛んでる女は目立つ。寄宿舎の舎監になり、挺身隊の小隊長になった。軍事訓練と戦争の残務整理に追われる。それが植竹さんの青春だった。

向島五丁目に越してきたのは、昭和28年頃。それから40年、向島を終の住家と決めて、家も新築した。一言会の理事にもなった。

「向島と縁があった。一言会との縁も大切にしたい。できることはお手伝いしますよ。」頭脳明晰。色白の白髪美人。今の植竹さんは、長年病いと戦ってきた人には見えぬ、かくしゃくたる風格がある。(純)

一言会 / 防災まちづくり瓦版

第27号 平成4年4月1日発行

編集 / 一言会を防災のまちにする会・編集部
高原純子・若木菊枝・木田啓男・木田文代

編集協力 / マヌ都市建築研究所

発行 / 一言会を防災のまちにする会・事務局
墨田区吾妻橋1-23-20

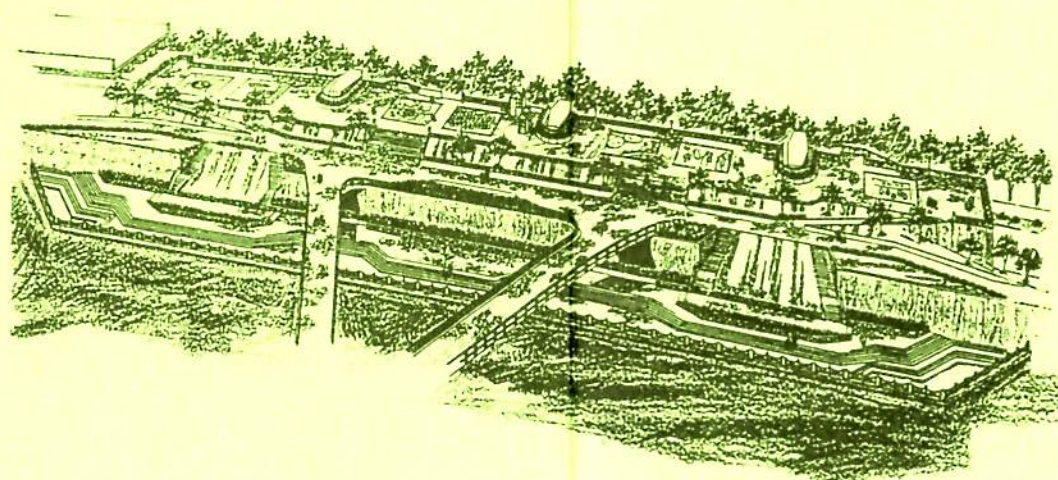
TEL (5608) 1111



▲きれいになった桜橋通りの歩道



▲隅田川にぶつかる部分は車道も改装



▲桜橋デッキスクエア鳥瞰図

新たな名所

桜橋通り・桜橋デッキスクエア

一言会地区の南端・桜橋通りの歩道が、きれいに改装されています。白い石畳の中に桜色のアクセント。隅田川にぶつかる部分は車道も同様に改装され、いくつかの色を使って大輪の花火のような大きな模様がかけています。

また、桜橋通りが突き当たる隅田川の堤防部分では、桜橋デッキスク

エアの建設工事が進行中。これができると、桜橋通りから大階段を上がり、直接隅田川のほとりやそこにかかる桜橋に出られるようになります。なお、これらの工事には、東京都防災生活圏モデル事業が適用されています。

どちらもこの春完成を予定しております。墨堤の花見や隅田川の花火に向けて、新たな名所となることでしょう。

一言会を防災のまちにする会

- (名称) 本会は「一言会を防災のまちにする会」
- (目的) 本会は、一言会地区を災害に強いまちにするための防災まちづくり計画を推進している。
- (活動) 本会は、(目的)を達成するための活動を行う。
- (構成) 本会は、地区内の町会(東向島一丁目町会、向島五丁目東町会、向島五丁目西町会、向島五丁目南町会、向島五丁目北町会)によって構成されている。
- (理事会) 本会は、議決機関として、理事会によって構成される。
- (役員) 本会は、会を代表する役員として、役員会によって構成される。
- (事務局) 本会は、会の活動を円滑にするために、事務局を設け、事務局員若干名をおく。
- (会則の改定) 本会則は、理事会において改定される。

一言会 平成4年度以降の活動

増加に対応するために、これまで各町会及びわいわい会から3名ずつとしていた理事の定数をなくし、希望者への枠を広げたこと。我が会は、と思う方はどんどんまちづくりに参加して下さい。

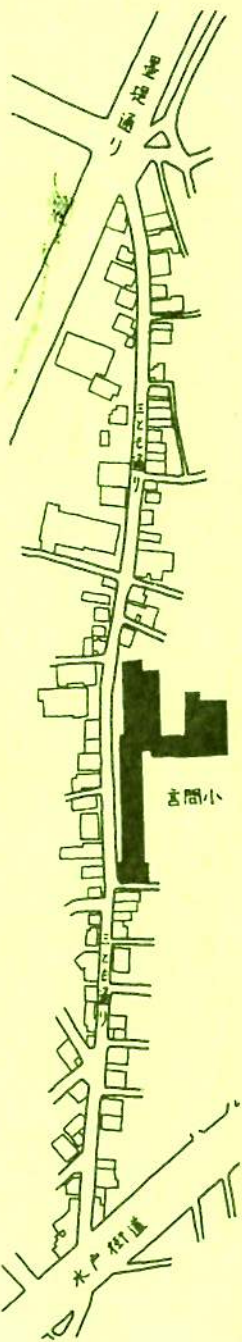
また、この他には、当初の目的のひとつだった「防災まちづくり計画の立案」は達成されたために削除し、この計画の推進を目的としました。そして、これまで明記されていなかった事務局の構成を明記しました。



三とも通りの整備の検討が始まりました。

3月6日に第1回目の担当理事会(向島五丁目東町会、向島五丁目西町会)が開かれ、三とも通りの現況の問題点と整備課題について意見が交換されました。この日、出された整備課題は、

- ①言問小前の歩道を歩き易くする
- ②交通量の増加と路上駐車への対



三とも通り

整備検討いよいよ始まる!

応

③言問小の改築への対応

④路地尊の設置

⑤三とも通りという名称の変更
などです。

担当理事会では今後、当面の課題として言問小前の歩道の整備、特に電柱の移設について取り組んでいくと同時に、路地尊の設置や沿道の整備方針などについても、検討していく方針です。

高田製薬跡地の利用策検討開始



担当理事会の風景▲

高田製薬跡地の利用策の検討が始まりました。

12月16日に担当理事会が開かれ、高田製薬跡地の利用策と検討の進め方について話し合われました。かねてからの防災広場としての位置付けから、広場や道路についての様々な意見が出されるなか、「気軽に集まって飲談できるような集会所をつくりたい」「不燃化建て替え時の仮住宅をつくるにはどうだろう」といった、施設設置の意見も出されました。

「利用策の検討については、広く地域の関心を集めている用地でもあるし、急いで決めてしまうのではなく、互版などを通して地域の意見を集めながらじっくりと進めていこう」という方針が固まりました。

東向島1-25
鳩の街通り

まちづくり用地・この春完成

一言会と鳩の街商業会とで利用計画案をまとめ、区に提案していた、鳩の街通りの東向島一丁目25番まちづくり用地は、2月4日に工事説明会が開かれ、その後着工しました。

工事説明会は区と施工を担当する室町建設によって開かれ、整備イメージや工程についての説明がありました。地元からは、検討には参加されなかった人も出席、どんな広場ができるのかと興味津々説明に聞き入っていました。狭い道路に面する商店街での工事ということで、工事車両の進入などの工程についての質問が多く出された他、具体的な整備イメージや管理についての意見も出されました。「良い広場ができそうで楽しみです。面倒は地元で見ましよう」という声も聞かれました。

この広場は、この春完成する予定です。



▲工事中の広場 この春完成予定



▲工事説明会の風景



言問小に、「あき庄おみこし」登場!

11月23日、言問小学校55周年記念バザーの会場に、「あき庄おみこし」が登場しました。このおみこしはあき庄約300個を使って作成されたもので、校門を入ると正面に鎮座し、来場者にあき庄のリースイクルを訴えていました。

向島有季園 平成4年度利用者

2月29日に開かれた向島有季園・利用者抽選会には14区画への当選を目指して、23名の応募者が集まりました。倍率は約1.6倍。それぞれの思いを胸に抽選に臨んでいました。抽選会の後、当選者と昨年の利用者が集まった懇談会では、「トマトや茄子などの連作がきかないものは実りが悪い」とか「じゃがいもがおいしく実る」などの昨年の利用者のアドバイスに、当選者は真剣に耳を傾けていました。

区画名	氏名	住所
めじろ	大里美代子	東向島3-26-9
すずめ	山崎ひさ子	東向島3-10-11
しらさぎ	丸山和夫	東向島1-34-7
はと	木村都子	東向島1-22-8
つばめ	高橋勝子	向島5-20-11
かもめ	明間藤子	東向島1-32-9
せきれい	石綿勝彦	東向島1-10-8
みやこどり	嶋崎易二	向島5-34-9
しじゅうから	又保田松子	向島5-49-4
ほととぎす	黒田誠一	東向島1-13-13
こじゅけい	石橋清子	向島5-34-5
じゅうしまつ	中村ゆき子	向島5-34-3
ちどり	市川右近	向島5-34-10
うぐいす	植竹モト	向島5-35-14

1 会古路地の管理について

アルミ缶入れやコンポストなどリサイクル装置がある会古路地の管理をどうするのか、アルミ缶入れやコンポストは誰が使うのか、といったことが一言会では課題となっていました。このことについて12月19日に担当理事が集まって話し合いました。

全体の管理は地元・宮元町会の北条理事と上田理事が窓口になることになりました。また、会古路地の隣に住み、新たに一言会の理事となった中村理事にも、日頃の面倒を見てもらうことになりました。アルミ缶の処理については、子供会の活動などとの関係も含めて今後具体的に考えていくこととし、当面は一言会で回収、その量をアルミをつくり出す時の電力節約量に換算して、黒板堀に貼り出すことにしました。

2 春の火災予防週間

地蔵坂構材庫前で3月4日に、「春の火災予防週間」のイベントが、消防署と地元の共同で行なわれました。

イベントの目的は救急処置法の講習で、人形等を用いた消防署の方々の指導がありました。余興に行なわれた向島よしつね太鼓の音にさそわれて、夕勢の人が集まりました。

- 主催 向島消防署
 向島消防団第三分団
 後援 地蔵坂通商店会
 東向一南町会
 東向島一丁目中町会
 東向島宮元町会
 堤通一丁目町会
 東向島三丁目消防隊
 東向一消防隊



▲「はい ゆっくり押しして下さい」



トントコ・ドコドコ よしつね太鼓



▲「がんばれー 火を消せー」

3 白鬚神社遷座祭

白鬚神社の本殿が完成し、3月7日、御神体を安置する遷座祭が行なわれました。

平成2年3月19日、過激派のゲリラによる放火で全焼。再建までに丸2年かかりました。

完成した新本殿は鉄筋コンクリート造で、以前の1.5倍、150平方メートルの広さがあります。(紙)



再建された白鬚神社

4 まちづくり記録ビデオ完成

一言会理事会で試写会
 墨田区が制作していた、一寺言問の防災まちづくり記録ビデオがこの程完成しました。

ナレーターは宝井琴枝さんが、一寺言問の防災まちづくりを講談で語るという内容で、題して「まちづくり講談 一寺言問の防災まちづくり伝」。一言会の理事たちも多勢出演しています。

一言会では、2月18日の理事会で試写会を行い、これまでの自分たちの活動をなつかしみつつ、振り返りました。

5 区有地に接する細街路を拡幅

墨田区では、区有地に接している細街路(幅員4m未満)については積極的に拡幅、4mにしていくことになりました。一寺言問地区内の区有地では、高田製菓跡地と大宮湯跡地が細街路と接しており、拡幅の対象となります。

このビデオをご覧になりたい方は、下記までご連絡下さい。
 〒130 墨田区吾妻橋1-23-20
 墨田区都市整備部開発促進室
 TEL(5608)1111 (内3913)